

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	05	01	02	0405	酒造技術者支援事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
南部杜氏の酒造技術の確保と後継者育成

《事業開始の背景》
H18までは「出稼ぎ相談事業」（国の補助事業）として実施してきたが、補助事業の終了とともに、単独事業として、H20は「酒造技術者育成事業」、H23は「酒造技術者支援事業」として実施

《事業概要》
○酒造技術者支援事業
酒造技術者育成事業補助金の交付
南部杜氏協会支部補助金の交付

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

	項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)
①	花巻市内の南部杜氏協会会員数	人	目標	300	300	
			実績	210	210	
②	花巻市内の杜氏資格選考試験合格者数	人	目標	2	2	
			実績	0	0	
③			目標			
			実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
しごと	商工観光部	商工労政課	久保田謙一	388

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費	1,708				
財源内訳	国県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,708			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

①酒造技術者育成事業補助金 670 千円
1 杜氏講習会 270 千円 (事業費2,900千円)
2 酒造大学 400 千円 (事業費1,000千円)

②南部杜氏協会支部補助金 858 千円
7支部(花巻、大迫、石鳥谷、新堀、八幡、八重畑、東和)
事業費4,600千円

③酒造技術者就労支援 180 千円
消耗品費等 58 千円 (感謝状関連)
通信費、筆耕料等 122 千円 (就労先広報配布等)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	05	01	02	0405	酒造技術者支援事業

総合計画	政策	地域資源の連携強化で産業振興のまちづくり	施策	雇用サポート体制の拡充による雇用促進
	1		1-5	
目的	南部杜氏の酒造技術の確保と後継者育成			
対象	南部杜氏協会の会員 酒造業に従事する出稼就労者			
意図	酒造技術が伝承される。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○酒造技術者支援事業
酒造技術者育成事業補助金の交付
南部杜氏協会支部補助金の交付

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
①	酒造技術者講習会開催回数	回	計画	3	3	
			実績	2	2	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
①	花巻市内の南部杜氏協会会員数	人	目標	300	300	
			実績	210	210	
②	花巻市内の杜氏資格選考試験合格者数	人	目標	2	2	
			実績	0	0	
③			目標			
			実績			

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

会員数は維持しているが、後継者の減少や試験の受験者の減少も要因となって、合格者がいなかった。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

特になし

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	伝統的に継承されてきた日本酒の醸造技術の確保と継承者育成のために、市が支援する必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	優れた南部杜氏の技術を継続的にPRし、後継者を発掘する。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	酒造技術の確保・育成の観点から現行の補助金水準の維持が必要である。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	補助金の他は、会員の会費で運営されているため、応分の費用負担を伴っている。

《総合評価》…上記評価結果の総括

酒造業の従事者を支援するため、南部杜氏協会等へ補助金を交付することによって、南部杜氏の酒造技術の確保と後継者育成が図られた。